| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(障害者領域) | | | | | 実務家教員担当科目 | - |
| 単位 | 4 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 3 | 開講時期 | 通年 |
| 担当教員 | 通山　久仁子 | | | | | | |
| 授業概要 | ソーシャルワーク実習・実習指導の目的と意義、実習分野と施設、クライエント、実習先で必要とされる知識・技術について説明する。また、実習に向けた具体的な手続き、各種書類の作成、事前訪問・見学実習の方法、実習先でのマナー・態度、実習総括レポートについて説明し、実践する。実習期間中は、巡回と帰校日による指導を行う。実習後は個別・集団指導を行い、現場での体験を専門的支援の概念や理論に関連づけるとともに、自己の学びと課題を整理する。これらを踏まえ、実習の最終的な総括として、全体報告会を実施する。なお、実習は分散型実習（原則として 3 年次の 6 月と 11 月に各 90 時間）として実施されるため､各期の実習をはさむ形で授業を行う。<br><br>※授業スケジュールの詳細はオリエンテーション時にお知らせします。 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | | | 授業方法 | 反転授業、グループワーク、プレゼンテーション | | |

| 学生が達成すべき行動目標 | |
|---|---|
| 標準的レベル | 実習の意義、ソーシャルワークに係る知識・技術、専門職としての職業倫理について理解を深めることができる。また、実習に向けた準備・手続き、実習後の振り返り・課題整理について理解し、実行できる（具体的には以下の通り）。<br>１．ソーシャルワーク実習の意義について理解できる。（DP3-1）<br>２．社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養うことができる。（DP2-2、DP4-1、DP4-2）<br>３．ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得できる。（DP1-1、DP1-2、DP2-1、DP5-1 、DP5-2）<br>４．実習を振り返り、実習で得た体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる総合的な能力を涵養できる。（DP3-2、DP4-3） |
| 理想的レベル | ソーシャルワークに係る知識・技術や専門職としての職業倫理について理解を深めることができる。また、実習体験を踏まえた自己の課題整理・把握に基づき、ソーシャルワーク専門職としての資質向上や支援技術の獲得に向けた取り組みを実行できる。 |

評価方法・評価割合

| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
|---|---|---|
| 試験 | | |
| 小テスト | | |
| レポート | 30% | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | |
| レポート外の提出物 | 20% | |

| その他 | 50% | |
|---|---|---|

| カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| DP1 | ○ | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | WE21232J |

| 学習課題（予習・復習） | 1 回の学習目安（時間） |
|---|---|
| 各回の授業内容に関する事前の学習、事後の振り返り・整理等を行う。 | 4 |

| 授業計画 | |
|---|---|
| 第 1 回 | 【前期オリエンテーション】（担当：全教員）<br>前期の授業内容・日程、受講のルール等について説明する。 |
| 第 2 回 | 【実習分野・施設に関する基礎的理解】（担当：全教員）<br>実習分野・施設に関する法制度、組織、事業・支援内容、クライエント等について説明する。 |
| 第 3 回 | 【実習分野・施設に関する基礎的理解】（担当：全教員）<br>実習分野・施設に関する法制度、組織、事業・支援内容、クライエント等について説明する。 |
| 第 4 回 | 【実習分野・施設に関する基礎的理解】（担当：全教員）<br>実習分野・施設に関する法制度、組織、事業・支援内容、クライエント等について説明する。 |
| 第 5 回 | 【実習に必要な書類の作成】（担当：全教員）<br>実習生紹介票、実習計画書、実習誓約書等の作成について個別指導を行う。 |
| 第 6 回 | 【実習に必要な書類の作成】（担当：全教員）<br>実習生紹介票、実習計画書、実習誓約書等の作成について個別指導を行う。 |
| 第 7 回 | 【事前訪問・見学実習について】（担当：全教員）<br>事前訪問・見学実習の目的、方法、注意事項について説明する。 |
| 第 8 回 | 【実習で必要な知識・技術について】（担当：全教員）<br>実習先で必要となる知識・支援技術について説明する。 |
| 第 9 回 | 【実習で必要な知識・技術について】（担当：全教員）<br>実習先で必要となる知識・支援技術について説明する。 |
| 第 10 回 | 【実習日誌について】（担当：全教員）<br>実習日誌の意義と目的、記入方法について説明する。 |
| 第 11 回 | 【前期実習前の最終確認】（担当：全教員）<br>実習履修上の注意点等について最終の説明を行う。 |
| 第 12 回 | 【帰校日指導】（担当：全教員）<br>実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。 |
| 第 13 回 | 【帰校日指導】（担当：全教員）<br>実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。 |
| 第 14 回 | 【領域別報告会】（担当：全教員）<br>実習領域ごとに報告会を行い、前期実習の振り返りと整理を行う。 |
| 第 15 回 | 【領域別報告会】（担当：全教員）<br>実習領域ごとに報告会を行い、前期実習の振り返りと整理を行う。 |
| 第 16 回 | 【後期オリエンテーション】（担当：全教員）<br>後期の授業内容と日程等について説明する。 |

| | |
|---|---|
| 第 17 回 | 【実習に必要な書類の作成】（担当：全教員）<br>後期実習計画書の作成について個別指導を行う。 |
| 第 18 回 | 【実習に必要な書類の作成】（担当：全教員）<br>後期実習計画書の作成について個別指導を行う。 |
| 第 19 回 | 【実習に必要な書類の作成】（担当：全教員）<br>後期実習計画書の作成について個別指導を行う。 |
| 第 20 回 | 【後期実習に向けた事前学習】（担当：全教員）<br>クライエント理解、個別支援計画の作成、実習日誌など後期実習に向けた指導を行う。 |
| 第 21 回 | 【後期実習に向けた事前学習】（担当：全教員）<br>クライエント理解、個別支援計画の作成、実習日誌など後期実習に向けた指導を行う。 |
| 第 22 回 | 【後期実習前の最終確認】（担当：全教員）<br>実習履修上の注意点等について最終の説明を行う。 |
| 第 23 回 | 【帰校日指導】（担当：全教員）<br>実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。 |
| 第 24 回 | 【帰校日指導】（担当：全教員）<br>実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。 |
| 第 25 回 | 【実習の振り返り】（担当：全教員）<br>個別面談による後期実習の振り返り、領域別報告会の準備、実習総括レポートの作成を行う。 |
| 第 26 回 | 【実習の振り返り】（担当：全教員）<br>個別面談による後期実習の振り返り、領域別報告会の準備、実習総括レポートの作成を行う。 |
| 第 27 回 | 【領域別報告会】（担当：全教員）<br>実習領域ごとに報告会を行い、後期実習の振り返りと整理を行う。 |
| 第 28 回 | 【領域別報告会】（担当：全教員）<br>実習領域ごとに報告会を行い、後期実習の振り返りと整理を行う。 |
| 第 29 回 | 【領域別報告会】（担当：全教員）<br>実習領域ごとに報告会を行い、前期実習の振り返りと整理を行う。 |
| 第 30 回 | 【全体報告会】（担当：全教員）<br>全体報告会を行い、実習全体を通した学び、気づき、課題、反省等を整理・総括する。 |
| テキスト | 「ソーシャルワーク実習マニュアル」西南女学院大学 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 参考図書：「ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）」中央法規 |
| 課題に対するフィードバッ | コメントや回答例の提示等によりフィードバックする。 |

| | |
|---|---|
| クの方法 | |
| 学生へのメッセージ・コメント | 各自の実習領域・施設に関連する法制度やサービス、クライエントの特性、知識・支援技術等について理解を深めておいて下さい。また、ボランティアや地域活動にも積極的に取り組んで下さい。 |